



平成17年7月27日

## 平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社

上場取引所 東・大 第一部

コード番号 5481

本社所在都道府県 兵庫県

(URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>)

代表者 役職・氏名 代表取締役社長 佐々木 宏機

問合せ先責任者 役職・氏名 取締役総務部長 堤 晴兒

TEL 0792-35-6003

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)影響額が僅少なものにつき、一部簡便な手続きを用いております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結 (新規) - 社 (除外) 3 社 持分法 (新規) - 社 (除外) - 社

## 2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	32,885	31.8	3,910	180.0	3,941	206.7	2,255	285.3
17年3月期第1四半期	24,947	-	1,396	-	1,284	-	585	-
(参考)17年3月期	108,189		6,529		5,523		2,681	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	14.29	-
17年3月期第1四半期	3.71	-
(参考)17年3月期	16.49	-

## &lt;参考&gt; 単独業績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	31,276	32.1	3,591	185.0	3,649	196.2	2,128	250.9
17年3月期第1四半期	23,683	-	1,260	-	1,232	-	606	-
(参考)17年3月期	102,372		5,951		5,581		2,587	

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

## (2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	124,791	65,284	52.3	413.69
17年3月期第1四半期	119,395	61,583	51.6	390.07
(参考)17年3月期	122,663	63,527	51.8	402.03

## 3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	65,000	8,000	4,600

## &lt;参考&gt; 単独業績

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	62,000	7,300	4,200

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであります。予想には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

## [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期（平成17年4月1日～平成17年6月30日）のわが国経済は、企業収益の改善による民間設備投資の増加ならびに雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しなどにより緩やかに回復してまいりました。

特殊鋼業界におきましては、自動車や産業機械などの主要需要業界からの需要が旺盛であったことから、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産は前年同月比で38ヶ月連続の増加を続けております。

当社グループにおきましても、ベアリング業界、自動車業界などの主要需要業界が高水準の生産活動を継続していることを背景に、軸受鋼、構造用鋼の販売が好調であったことから、売上高は328億85百万円と前年同期比79億38百万円の増加（前年同期比+31.8%）となりました。

利益面では、原燃料価格が前年同期より高位で推移しましたが、販売数量の増、販売価格および品種構成の改善ならびに生産性向上によるコストダウン等により、経常利益は39億41百万円と前年同期比26億56百万円の増加、四半期純利益は22億55百万円と前年同期比16億69百万円の増加となりました。

当社グループは、2005年度から2007年度までの3カ年を実行期間とする中期連結経営計画の着実な遂行により、磐石な事業基盤を構築し、RO S<sup>(\*)</sup>10%を安定的に確保できる体質を早期に確立することで、「企業価値」の向上を図っていく考えであります。

(\*)RO S = 経常利益 ÷ 売上高

## [財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の総資産は売上高の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加および棚卸資産の増加により、1,247億91百万円（前期比21億27百万円増）となりました。

負債は支払手形および買掛金の増加などにより、591億55百万円（前期比3億94百万円増）となりました。

株主資本は四半期純利益の計上等により、652億84百万円（前期比17億57百万円増）となりました。

## [業績予想に関する定性的情報等]

1. 平成17年9月中間期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成17年9月30日）（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）（平成17年5月10日）	62,000	4,500	2,600
今回発表予想（B）	65,000	8,000	4,600
増減額（B - A）	3,000	3,500	2,000
増減率（%）	4.8%	77.8%	76.9%
（ご参考）前年同期実績（平成16年9月中間期）	49,993	2,604	1,036

<参考>平成17年9月中間期の単独業績予想（平成17年4月1日～平成17年9月30日）（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）（平成17年5月10日）	59,000	4,000	2,300
今回発表予想（B）	62,000	7,300	4,200
増減額（B - A）	3,000	3,300	1,900
増減率（%）	5.1%	82.5%	82.6%
（ご参考）前年同期実績（平成16年9月中間期）	47,416	2,519	1,147

## 2. 修正理由

自動車業界、ベアリング業界などの主要需要業界の好調な生産を背景に、販売数量は予想を上回る水準で推移しております。利益面では、合金鉄価格の高騰があるものの、販売数量の増加および品種構成の改善ならびに生産性向上によるコストダウン、更には、主原料である鉄屑価格が当初見込みよりも低位で推移していることから、平成17年5月10日に公表した業績予想値を上回ることが確実となりました。

なお、現段階では、中国、米国の景気の先行きや原燃料価格の動向など下半期の見極めが困難なことから、業績予想につきましては中間期のみにとどめております。通期の業績予想につきましては、下半期の事業環境が見通せる状況となった時点で、速やかに開示いたします。

以上

添付資料 要約連結貸借対照表、要約連結損益計算書

## ( 1 ) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期末	前連結会計年度末	増 減	前第1四半期末
	平成17年6月30日現在	平成17年3月31日現在		平成16年6月30日現在
( 資 産 の 部 )				
<b>流 動 資 産</b>	65,426	62,701	2,725	54,526
現金及び預金	4,039	4,917	877	3,171
受取手形及び売掛金	27,791	25,013	2,778	23,822
棚卸資産	31,023	28,816	2,206	25,872
繰延税金資産	1,221	2,639	1,417	907
その他	1,478	1,436	41	811
貸倒引当金	127	121	5	59
<b>固 定 資 産</b>	59,364	59,962	597	64,868
<b>有 形 固 定 資 産</b>	( 51,194 )	( 51,651 )	( 456 )	( 52,979 )
建物及び構築物	12,931	13,037	105	13,571
機械装置及び運搬具	27,995	28,173	178	29,368
土地	7,709	7,707	1	7,809
建設仮勘定	1,897	2,074	176	1,540
その他	659	657	2	689
<b>無 形 固 定 資 産</b>	( 935 )	( 1,002 )	( 66 )	( 1,394 )
<b>投 資 そ の 他 の 資 産</b>	( 7,233 )	( 7,307 )	( 74 )	( 10,494 )
投資有価証券	5,428	5,373	55	5,064
長期貸付金	621	609	11	722
繰延税金資産	488	620	132	3,588
その他	1,348	1,351	2	1,428
貸倒引当金	653	646	6	309
<b>資 産 合 計</b>	124,791	122,663	2,127	119,395

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期末	前連結会計年度末	増 減	前第1四半期末
	平成17年6月30日現在	平成17年3月31日現在		平成16年6月30日現在
( 負 債 の 部 )				
<b>流 動 負 債</b>	34,843	34,473	370	32,281
支払手形及び買掛金	11,665	10,446	1,218	9,325
短期借入金	14,292	14,299	6	15,588
未払法人税等	157	492	334	104
未払金	2,046	2,224	177	1,789
未払費用	5,256	5,797	541	4,519
その他	1,424	1,213	211	952
<b>固 定 負 債</b>	24,311	24,288	23	24,906
長期借入金	23,081	23,135	54	23,537
繰延税金負債	11	10	1	39
退職給付引当金	441	451	10	734
役員退職慰労引当金	356	374	17	296
その他	421	316	105	298
<b>負 債 合 計</b>	[ 59,155 ]	[ 58,761 ]	[ 394 ]	[ 57,187 ]
( 少 数 株 主 持 分 )				
<b>少 数 株 主 持 分</b>	[ 351 ]	[ 374 ]	[ 23 ]	[ 623 ]
( 資 本 の 部 )				
<b>資 本 金</b>	20,182	20,182	-	20,182
<b>資 本 剰 余 金</b>	17,594	17,594	-	17,593
<b>利 益 剰 余 金</b>	27,997	26,293	1,703	24,512
その他有価証券評価差額金	1,283	1,253	29	1,065
為替換算調整勘定	400	427	26	415
自己株式	1,372	1,369	3	1,356
<b>資 本 合 計</b>	[ 65,284 ]	[ 63,527 ]	[ 1,757 ]	[ 61,583 ]
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	124,791	122,663	2,127	119,395

## ( 2 ) 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日	前第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	増 減	前連結会計年度 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日
売 上 高	32,885	24,947	7,938	108,189
売 上 原 価	26,310	21,160	5,150	91,773
売 上 総 利 益	6,574	3,786	2,788	16,416
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,664	2,389	274	9,886
営 業 利 益	3,910	1,396	2,513	6,529
営 業 外 収 益	( 220 )	( 85 )	( 134 )	( 344 )
受 取 利 息	13	6	6	63
受 取 配 当 金	40	26	13	44
為 替 差 益	119	-	119	-
そ の 他	47	52	5	235
営 業 外 費 用	( 189 )	( 197 )	( 8 )	( 1,350 )
支 払 利 息	133	119	14	522
為 替 差 損	-	29	29	155
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	0	5	5	394
そ の 他	55	43	12	278
経 常 利 益	3,941	1,284	2,656	5,523
特 別 利 益	( 25 )	( 0 )	( 24 )	( 46 )
土 地 売 却 益	-	-	-	43
投 資 有 価 証 券 売 却 益	25	-	25	-
ゴ ル フ 会 員 権 売 却 益	-	-	-	3
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	-	0	0	-
特 別 損 失	( 112 )	( 223 )	( 110 )	( 1,192 )
固 定 資 産 等 売 廃 却 損	110	56	54	589
投 資 有 価 証 券 評 価 損	2	-	2	0
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	-	-	-	10
会 計 基 準 変 更 時 差 異 償 却	-	62	62	251
特 別 退 職 費 用	-	104	104	341
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,853	1,061	2,792	4,377
税 金 費 用	1,628	493	1,134	1,948
少 数 株 主 損 失	30	17	12	253
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	2,255	585	1,669	2,681

## 平成18年3月期 第1四半期連結決算発表

. 当第1四半期の業績と中間期予想

(単位：百万円)

	当第1四半期 (実績)	前第1四半期 (実績)	増減	増減率 (%)
売上高	32,885	24,947	7,938	31.8
営業利益	3,910	1,396	2,513	180.0
経常利益	3,941	1,284	2,656	206.7
[ROS(%)]	[12.0]	[5.2]	[6.8]	
当期純利益	2,255	585	1,669	285.3

	当中間期 (予想)	前中間期 (実績)	増減	増減率 (%)
	65,000	49,993	15,007	30.0
	8,000	2,845	5,155	181.2
	8,000	2,604	5,396	207.2
	[12.3]	[5.2]	[7.1]	
	4,600	1,036	3,564	344.0

設備投資	749	584	165	28.2
減価償却費	1,261	1,292	30	2.4

	3,700	1,682	2,018	120.0
	2,500	2,672	172	6.4

. 当第1四半期の経常利益の増加要因(対 前第1四半期)

(単位：億円)

	影響額
1. 販売数量の増および品種構成の改善	11
2. 販売価格の改善	36
3. 原燃料価格上昇	27
4. コストダウン他	7
計	27

. 当中間期(予想)の経常利益の増加要因(対 前中間期)

(単位：億円)

	影響額
1. 販売数量の増および品種構成の改善	21
2. 販売価格の改善	75
3. 原燃料価格上昇	53
4. コストダウン他	11
計	54

(参考) &lt; 単体 &gt;

当第1四半期の業績と中間期予想

(単位：百万円)

	当第1四半期 (実績)	前第1四半期 (実績)	増減	増減率 (%)
売上高	31,276	23,683	7,592	32.1
営業利益	3,591	1,260	2,331	185.0
経常利益	3,649	1,232	2,417	196.2
[ROS(%)]	[11.7]	[5.2]	[6.5]	
当期純利益	2,128	606	1,521	250.9

	当中間期 (予想)	前中間期 (実績)	増減	増減率 (%)
	62,000	47,416	14,584	30.8
	7,300	2,630	4,670	177.6
	7,300	2,519	4,781	189.8
	[11.8]	[5.3]	[6.5]	
	4,200	1,147	3,053	266.2

設備投資	547	480	67	14.0
減価償却費	1,075	1,113	37	3.4

	3,300	1,363	1,937	142.1
	2,200	2,252	52	2.3

以上